公益社団法人
和商同窓会会報
（旧和商）　（新和商）
（発行所）和歌山市砂山南３丁目3-94　県立和歌山商業高校内　TEL 436-6456　公益社団法人和商同窓会　（第46号）平成31年３月1日（金曜日）

「平成の時代」

理事長　小川　武

和商同窓会の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素より、当同窓会の活動に格別のご高配を賜っておりますことに対しまして厚く御礼を申し上げますとともに、ＰＴＡの皆様方並びに花本校長先生をはじめとする教職員の方々の熱心で誠実なご指導に対し、深く感謝を申し上げる次第です。

さて、平成三十一年は元号が改まるとても厳かな年であります。

平成の時代、私達の周りで様々な、そして大きな出来事、行事が実施されました。世界リゾート博覧会や全国植樹祭、和歌山では2回目となる紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開催、紀伊山地の霊場と参詣道の世界遺産登録など、「和歌山」が世界に大きく羽ばたいた時期でありました。

一方で、忘れてはならないのが自然災害です。平成二十三年の紀伊半島大水害では県内でも大きな被害が出ました。また、二〇一八年「今年の漢字『災』」が示すとおり、全国各地で地震や大雨による被害が相次いでおり、改めて自然災害に対する備えの大切さを痛感させられました。

私達和商同窓会も、昭和三十年六月の設立以来、会員相互の向上と親睦を中心とした活動を行い、児童、青少年の心身の健全発達に寄与し、豊かな人間性をかん養することを目的とした事業を実施してまいりました。こうした私達の、公益性を有しているだけでなく、信頼度や透明性の高い活動が認められ、平成二十四年に公益社団法人に移行したのは周知のとおりです。今後とも、商業に関する学科を設置する高等学校に対する公益事業を積極的に行い、私達の責務を果たしてまいりたいと考えています。

結びに、私達同窓会は今後も関係の皆様方との協力体制を堅持し、健全な教育、正しい学校運営に全力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力の程よろしくお願い申し上げるとともに、母校和商の発展と関係各位のご健勝を祈念申し上げ、ご挨拶といたします。

地域の課題に目を向ける商業教育を

学校長　花本　明

和商同窓会の皆様方には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は本校教育に対しまして、温かいご理解と多大なるご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。昨年度4月に校長として着任して以来早くも2年が経とうとしています。創立114年目を迎えた伝統校である和商の校長としての重責を果たすべく、平成31年度からの教育課程の改編、部活動の活性化、コミュニティスクールへの移行と学校運営協議会の新設、国公立大学や関西有名私立大学への進学者や医療看護・保育・教育系大学への進学者の増加など進学内容の充実と、地元優良企業への就職者の増加など学校運営に邁進して参りました。

高等学校学習指導要領が昨年3月に公示され、平成34年度からの実施に向けて準備が進められています。新学習指導要領においては、より良い学校教育を通してより良い社会を創るという理念を学校と社会が共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身につけられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携・協働によりその実現を図っていくことを目ざしています。こうした「社会に開かれた教育課程」の実現が今求められており、それはこれまで商業教育が推進してきた方向に通じるものです。

今、日本が直面している大きな課題、特に和歌山県でも顕著な課題が少子高齢化と人口減少による地域の衰退です。その地域社会と連携・協働を図りながら生徒自らが地域の担い手として地域の課題を考え、その解決を考えていく事が出来るような仕組みが必要とされています。それが、「社会に開かれた教育課程」であり、商業教育が地域創生に積極的に関わっていくことにより、地域に貢献する人材を育てていくことが求められているのです。そのためには、商業科のある高校が地域に打って出て、コミュニティに働きかけ、地域の核となり、地域創生のエンジンとして活躍することが大切です。和歌山商業では平成28年度より「楽天ＩＴ甲子園」に参加し、電子商取引で「紀伊國屋文左衛門本舗」を立ち上げて和歌山県の特産品であるミカンの販売で「高校生が選ぶ特別賞」を獲得、平成29年度は「シーサイドホテル加太海月」での観光の電子商取引を行いました。活動は平成30年度「楽天ＩＴスクールネクスト」に引き継がれ、「地域防災」にスポットを当てアプリ開発を行いました。全国から10校が選ばれ、東京での全国大会に出場し、2年前の「高校生が選ぶ特別賞」と同じ「Student賞」を受賞しました。これらの先駆的な「地域に開かれた教育課程」は新学習指導要領が具現化を期待する良い例であることは間違いなく、全国的にも誇れる成果です。

また、文部科学省は、新学習指導要領の商業科目においては、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ社会経済の健全で持続的な発展を担う職業人を育成することを目ざし、グローバル化の進展や情報技術の進歩に対応すると共に、観光産業の振興、地域におけるビジネスの推進、ビジネスにおけるコミュニケーション能力とマネジメント能力の向上など社会の要請に応えることができるよう、科目構成や学習内容についても改善・充実を図っているとのべています。知識、情報、技術などをめぐる動きの速さが加速度的となり、情報化やグローバル化といった社会的変化が人間の予測を超えて進展するようになってきたことは、人と人をつなぐ人材を育成するという商業教育の重要性を社会に示す絶好の機会をもたらすものと考えることが出来ます。格安運賃を掲げたLCCの成長によりインバウンドの人たちが日本に押し寄せ、和歌山のような田舎でも外国人に接する機会が増えています。ここにも、新しいビジネスチャンスが存在しているのではないでしょうか。そういう意味では、英語でのコミュニケーション能力の獲得はこれからの商業高校生にとっては必須となってくると思われます。このような社会の変化や私たちの置かれている状況を理解したうえで、これからどう行動していけばいいかが問われています。確かに、外国にいって様々なグローバル体験を積むは国際的な視野を持った資質能力は身につくと思われます。しかし、そのような機会に恵まれる生徒はほとんどいません。そこで大切なのは「Think local, act global.」「バーチャルなグローバル思想ではなく、リアルな地域の実情（現場）の中にのみ、未来について考える題材がある。それを世界に発信せよ！」という考え方です。地域で起こっている現実の課題や社会の有様を深く掘り下げ、考え、世界につなげていくことがグローバルな考え方が出来る資質能力が身につくという考え方です。だからこそ、商業教育は地域の課題に目を向けることが大切なのではないでしょうか。

今年度の特別活動では、男子卓球部（団体、個人）、相撲部（個人）がインターハイ出場を勝ち取り、また、近畿大会にも多くのクラブが出場しました。また、相撲部の花田君は、3月の高知での選抜大会（新人大会）、5月の全国高校相撲金沢大会、7月の台湾での世界選手権に団体と個人で優勝するなど抜群の成績を収めました。

最後に、和商同窓会のますますご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ、結びとさせていただきます。

「感謝の気持ち」

生徒会長　田端　里衣

和商同窓会の皆様方には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

高校在学中の三年間、生徒会の一員として活動してきました。この三年という期間を今思い返すと、とても短かったような気がします。楽しい出来事、辛い出来事、うれしい出来事、他にもたくさんの思い出が頭を巡ります。良くも悪くもとても充実した、濃い三年間でした。その様々な経験が今の私を作ってくれています。

入学当初、私は他のクラブに入るつもりでいたのですが、家の事情により、希望するクラブへの入部を断念しました。しかし、この県和商は必ずいずれかのクラブに所属しないといけないとあり、人を支える仕事は嫌いではないので、とりあえず生徒会で良いかという気持ちで所属を決めました。中学生の時にも、一年間だけ生徒会に所属していたのですが、中学と高校の生徒会活動を比べると、高校の生徒会活動はそれより遙かに地味で、目立たないものでした。最初の活動時に、トイレの手洗い洗剤を詰め替えると聞いたときには、それは保健委員さんがやるものではないのかと驚いたのを今でも覚えています。

しかし、気を抜いているのも束の間、野球応援や体育祭、文化祭などの準備・運営はなかなか大変なものでした。私が一年生の時、役員数が十名前後で、行事を楽しむ間もありませんでした。しかし、それが今では役員の数が二十五名以上にも増えてくれ、日々の生徒会活動が笑いの絶えない楽しい時間となりました。

基礎を作ってくれた先輩、心折れそうなときにも、そばで支えてくれた同級生、人間としての成長の機会と笑顔をくれた後輩。この仲間たちがした。まさに、相撲王国和商の復活です。文化クラブも、珠算・電卓、簿記、情報処理、ワープロと全国大会に出場し、一生懸命に取り組んで来たことの成果が出ました。進路も好調で、就職は12月半ば現在で、島精機12名、新日鐵住金7名、日本郵便6名、公務員3名など現在105名が内定し、残り数名という状況となっています。進学も、4大は和歌山大学3名、関西大学1名、同志社大学1名、立命館大学1名、龍谷大学3名、近畿大学4名、東京医療保健大学2名、信愛大学9名など、また、短大は信愛30名など、専門学校は和歌山看護4名、県立高等看護学院1名など好調です。特別活動も頑張り、進路も頑張るという「和商カラー」は健在です。今後も、この「和商カラー」を大切にして学校運営に携わりたいと思っています。

最後に、和商同窓会のますますご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、結びとさせていただきます。

演劇部活動報告

顧問　川口　敦志

日頃から多大なるご支援とご協力を頂き、この場を借りて感謝申し上げます。

現在、部員数26名と県内演劇部の中で最も多いクラブです。人数がかつてないほど多い中活発に活動をしています。人数の多さを活かして県大会での最優秀賞受賞、近畿大会、全国大会出場を目指し努力を重ねています。ここ数年実力を発揮しきれずに上位大会への出場を逃し悔しい思いを重ねています。その悔しさを忘れずに県大会入賞という目標へ到達できるよう、今一度結束力を高め、部員一丸となって演技力・表現力の向上を目指しています。

秋の県高等学校総合文化祭（県大会）、文化祭公演のほか、自主公演を行っています。公演間近になると構内へ公演案内を掲示しますのでお時間のある方はぜひとも私たちの舞台をご覧になってください。

よろしくお願い致します。

昨年度の生徒会長は、人を笑わせる力を持った、とても面白い人物でした。生徒会役員全体からはもちろん、役員以外からも人望があった方でした。その生徒会長に、次の生徒会長は「私にやってほしい」と言われた時は、正直あまり喜べず、不安ばかりが先走っていました。一年たった今でもその不安は残っていますが、消えた分の不安は自信に変わったと、今なら言えます。

私がこの一年間、生徒会長としてやってこられたのは、友人や先生、保護者の方々など、関わってくれた方全員のおかげです。本当にありがとうございました。

最後になりますが、和商同窓会のますますのご発展と、ご多幸をお祈りしまして、結びの挨拶とさせて頂きます。

私の大きな財産です。いくら感謝を述べても感謝しきれません。

クラス同窓会委員

（新68期生）

1組	上野山陽太	此上　真由	6組	明石　託武	湯上　華
2組	福庭　攻成	◎牧原　愛海	7組	山根　淳平	◎毛見　鞠月
3組	中道　文也	瀧本　捺美	8組	竪道　隼人	寺村　美海
4組	森田　武志	山田　里奈			
5組	久保田大和	瀧川　諒			

◎印は学年代表

「地域の人とともに考える、いのちを守る防災・減災」情報コース3年「電子商取引」の取組

商業科教諭　川口　敦志

8「電子商取引」の授業では、全国10校の高校生が参加する楽天株式会社の実施プログラムRakuten IT SCHOOL NEXTに取り組んでいます。「南海トラフ大地震に対する防災・減災」をテーマに、4班体制で解決策をまとめました。昨年度卒業生和中萌絵さんが所属する正和情報サービス（和歌山市）と本校教職員で、防災士である市場様のご協力を頂き、各班が切磋琢磨してきました。

選考の結果、「楽天市場」のシステムを応用し、被災後に開設される各避難所での必要支援物資情報を正確に行政に届ける「First Area Delivery～F.A.D」を提案した班の代表者（3年5組古川美結、洞望美、6組門多伶奈）が1月8日に楽天クリムゾンハウスで開催された「成果発表会」に出場しました。

この大会は、全国10校の代表チームが出場し、地域課題についてどのように学び、解決に取り組んだかのプレゼンテーションを行い審査される集大成の場です。本校は参加生徒の多くの共感を呼び、見事「Student賞」を受賞しました。東南海地域の高校生から「実現してほしい」「人ごとではない」という言葉を頂けたことは大きな励みになりました。受賞班の努力はもちろん、情報コース生徒32名が一体となって教科書には載っていない課題に向けて、トライ&エラーを繰り返しながら学びを取り組んできた成果でもあります。

このような取組ができるのも、楽天株式会社、正和情報サービスをはじめ地域の方々のご尽力の賜であり、同窓会の皆様が紡いでいって下さった良き校風、伝統、学びの蓄積のおかげです。

また、同窓会からは全国大会出場に際し、温かいご支援を賜りましたこと深く感謝申し上げます。

新6期生同窓会「傘寿」の会開催

新6期生　世話人　打田　親秀

昭和32年度卒業、新6期生の同窓会「傘寿」の記念会は、平成最後の昨年11月1日（木）アバローム紀の国において、開催致しました。卒業して62年、今回は節目の「傘寿」の年に記念の会という事で催しました。

卒業生は403名で、出席は49名、約10分の1でした。今回は4回目でした。3年ぶりの会でしたが、残念ながら前回（平成27年開催）よりも14名少なくなりました。

今回の「傘寿」での出席者は、皆さん「元気はつらつ」で若々しく・・・再会を喜びあいました。

まずは、これまで不幸にして亡くなられた〝わが友〟のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。そして高らかに「校歌」を斉唱し、クラス毎に世話人さんが名前を読み上げ自己紹介をし、〝あれ誰だっけか〟〝そうやったか〟という感じになり、和気あいあいの約3時間の懇親会になりました。

最後に野球部の「甲子園六甲おろしを唄います」で若々しく・・・再会を喜び

新七期生　第12回同期会

報告者　I組　寺谷　久生

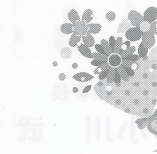
新七期生の第12回同期会を平成30年10月19日（日）12時から和歌山駅前ホテルグランヴィア6階・グランで開催しました。

毎回出席していただいている恩師の大矢先生、寺本先生に今回もご臨席を頂きました。

今回は、大矢先生にご挨拶を頂きました。先生は新7期生の入学（昭和30年4月）と同時に新米教師として県和商に採用された同期生で、JR和歌山線で橋本市高野口から県和商まで1時間半かけて通勤されていました。その当時の電車内での思い出話をおもしろおかしく、また興味深く話してくださいました。さらに当時の県和商名物教師の出場」を祈願して、応援歌「和商高健児の」と、そして阪神タイガースの来年度の優勝を期待し、「六甲おろし」を高らかに斉唱し、次回（いつか?）の再会を約束して散会しました。

元毎日（現ロッテ）・阪神タイガースで活躍した我が友福塚　勝哉さんも元気に参加されていました。

（現　松山市在住）



ご紹介など盛り沢山で、出席者全員63年前にタイムスリップして大いに共感を覚えなつかしい気持ちに浸りました。

また、寺本先生には乾杯の音頭を取っていただきました。先生は橋本市の由緒ある須田神社の宮司として現在もご活躍されております。

今回の同期会は72名の出席者で、東京や人阪近郊からも多数出席されており、2年ぶりの再会を喜び合う姿に感動しました。

同期会は世話役のご尽力が何よりも有り難く、感謝で一杯です。26年間同期会の事務局としてお世話してくれているH組の橋本昭美（旧姓加茂）さんと協力者のE組の岩出善夫さん、そして12回の世話人G組の尾崎弘一さん、武田雅治さんに感謝して全員拍手でお礼を表しました。

懇親会はA組の小林繁子さんの元気な司会で始まり、話の花が咲いて各組の声自慢のカラオケなど、賑やかによく食べよくしゃべり、楽しい時間を過ごしました。

来年は満80歳になりますが、自然に逆らって米年から一歳ずつ歳をとる（減らす）ことの提案があり、そのためには具体的に①好奇心を持つこと、②感動する心を大切に、③太陽の光を浴びて活動する、④怒らない・腹を立てない・いつもにこにこ、この4つを実行して一歳若返ることを誓いました。

来年は一歳若返った姿でお会いすることを約束して、散会しました。

新三十一期同窓会

新31期　山崎　和広

私たち三十一期生は、五十歳を迎えた節目の二〇一三年に第一回目の学年同窓会を開催し、その場で五年毎の同窓会開催を約束しました。という事で昨年七月十五日「グランヴィア和歌山」で第二回学年同窓会を開催しました。今回幹事会では、三十一期の歌「31みんなの唄」をつくり発表しました。この「31みんなの唄」は、同窓生みんなが共感できる当時の思い出とみんなの願いを歌詞にした、「みんな頑張って行こう!」という応援歌です。

当日は、恩師（四名）にご臨席を賜り、同窓生は五八名の参加となりました。宴会は、スライドショーやクラス写真、この同窓会の告知の為自らのラジオ番組に出演させてもらった縁で、「和歌山のおやじシンガーTONPEI」さんのステージなど大盛況となりました。最後は、全員で輪を作り「31みんなの唄」の大合唱となりました。わかりやすく、覚えやすい歌詞・メロディーだった為、初めて歌ったにもかかわらず、みんな大きな声で歌ってくれました。あっという間の三時間が過ぎ次回五年後の開催と再会を宣言し閉会となりました。

そして、次回は還暦同窓会となります。今回より多くの参加者で成功させる為に、今回の同窓会の模様と「31みんなの唄」を収録したDVDを連絡の取れている同窓生に送付しました。

次回は、何人の同窓生が集まってくれるのか、赤いちゃんちゃんこを着てみんなと再会する事が今から楽しみです。

本校の進路動向

就職内定先（縁故就職含む）進学合格状況（延べ合格者数）

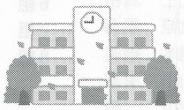
企業名	合計
赤井工作所	1
インテリックス	1
オークワ	2
オーテック	1
大西会計事務所	1
オプラス	1
オルト	1
カイセキ産業	1
花王和歌山工場	1
紀三福祉会	1
KissBee関西支社	1
紀の国メディカル	2
休暇村紀州加太	2
ゴトウ洋服店	1
琴の浦リハビリテーションセンター	1
コムテック	2
剤盛堂薬品	1
サイバーリンクス	3
サンベルム	2
島精機製作所	12
新日鐵住金和歌山製鐵所	7
すずらん	1
住友ゴム工業名古屋工場	1
住友電工産業電線	1
セイコーメディカル	1
正和情報サービス	1
ＺＯＥ美容室	1
第一熱処理工業	1
第一薬局	2
タカショーデジテック	2
匠技研	1
タケヤテック	1
タチバナビジネスサポート	1
ＴＤモバイル	1
東海澱粉和歌山営業所	1
トヨタ部品大阪共販	1
ながみね農業協同組合	2
中谷病院	1
ニシオカ	2
西日本旅客鉄道	2
ニチイ学館	1
日鉄住金物流和歌山支店	1
日本郵便近畿支社	6
久門製作所	1
菱岡工業	1
松源	1
松原建設工業	1
丸昌	1
丸中	1
水城会計事務所	2
三菱電機冷熱応用システム	3
三菱電線工業箕島製作所	3

企業名	合計
山崎製パン	3
ヤマト運輸	2
山本進重郎商店	1
和歌山共同火力	1
和歌山県立医科大学	1
和歌山サンクリーン	1
わかやま農業協同組合	4
和歌山日野自動車	1
和歌山県警察	2
和歌山市消防	1
大阪府警察	1
奈良広域消防組合	1
就職合計	110

四年制大学	合計
和歌山	3
東京医療保健	2
和歌山信愛	9
京都造形芸術	1
同志社	1
立命館	1
龍谷	3
大阪大谷	3
大阪学院	1
大阪河崎リハビリテーション	8
大阪観光	1
大阪経済	14
大阪国際	1
大阪産業	2
大阪商業	17
大阪成蹊	2
大阪体育	1
大阪電気通信	1
大阪人間科学	1
関西	1
関西医療	1
関西福祉科学	1
近畿	6
相愛	1
帝塚山学院	2
桃山学院	9
大和	1
帝塚山	1
鈴鹿	1
千葉商科	1
四年制大学合計	97

専門学校	合計
和歌山信愛女子	30
大阪成蹊	1
関西外国語	2
四天王寺	1
短期大学合計	34

専門学校	合計
和歌山県立高等看護学院	1
和歌山看護	6
和歌山市医師会看護	4
国保野上厚生総合病院附属看護	3
大阪労災看護	1
関西看護	1
ハートランドしぎさん看護	1
和歌山国際厚生学院	2
大阪医療福祉	4
関西医科	1
和歌山県歯科衛生士	5
和歌山コンピュータビジネス	1
大原簿記法律＆美容製菓	3
ＩＢＷ美容	5
和歌山高等美容	1
大阪アミューズメントメディア	1
大阪医療秘書福祉	1
大阪ＥＣＯ動物海洋	1
大阪外語	1
大阪観光	1
大阪こども	1
大阪情報コンピュータ	1
大阪調理製菓	1
大阪動植物海洋	1
大阪動物	1
大阪ビジネスカレッジ	1
大阪ブライダル	1
大阪ホテル	1
大手前栄養学院	1
神戸電子	1
修成建設	1
辻製菓	1
辻調理師	2
伝統文化と環境福祉の専門学校	1
トヨタ神戸自動車大学校	4
日本医療学院	1
放送芸術学院	1
ＥＣＣ国際外語	1
ＥＳＰエンタテイメント大阪	2
ＩＤＥＡ　ＣＥＢＵ	1
専門学校合計	69



平成31年1月25日現在

事務局からのお知らせとお願い

。各期での同窓会、クラブＯＢ会等の催しを開催される時はご一報・ご投稿下さい。
ホームページ・フェイスブックを開設しています。
ホームページアドレス
http://www.washo-dosokai.net/index.html
または、「公益社団法人和商同窓会」と検索して下さい。